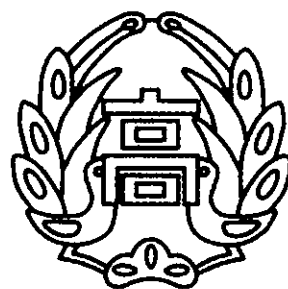
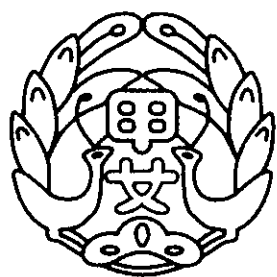


# 第115回 定期総会

山梨県立甲府高等女学校同窓会  
山梨県立甲府第二高等学校同窓会  
山梨県立甲府西高等学校同窓会



令和元年 5月11日(土) 会場：甲府 記念日ホテル



歴史と伝統

素晴らしき未来

さあ——

新しい時代へ

*my life your life*

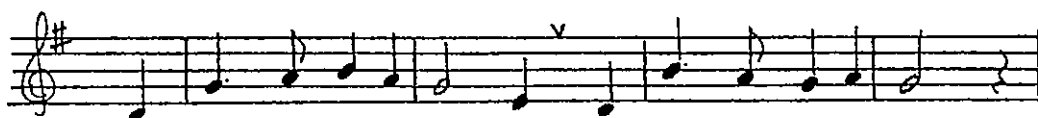
# 山梨県立高等女学校 山梨県立甲府高等女学校 校歌

作詞 本多龜三  
作曲 三谷良太

♩=96



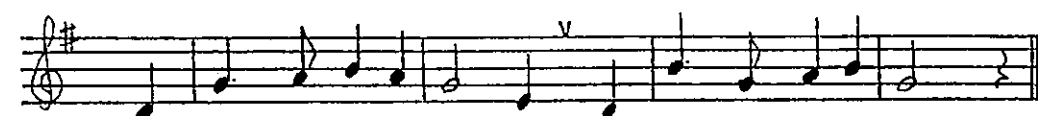
1. そ こ つ い わ ね に ま き ー ば し ら



ふ と し き た て し ま な ー び や の



に わ に め ぐ み の つ ゆ ー し げ く



そ だ つ わ れ ら ぞ さ ち ー お お き

四

三

二

一

未だ二葉なる姫小松  
教の雨にうるほひて  
春立つ毎に色を添へ  
榮えゆくこそめでたけれ

皇國に無雙勝景なる  
金溪をしのぶ荒川の  
清き流れを鑑とし  
貞淑の心磨かなむ

皇國の鎮と峙ちて  
千代に動かぬ富士の嶺の  
靈しき姿を仰ぎつゝ  
節操の心高めなむ

底つ磐根に眞木柱  
太しき立てし學び舎の  
庭に皇恩の露繁く  
育つ我等ぞ幸多き

# 山梨県立甲府第二高等学校 山梨県立甲府西高等学校 校歌

作詞 尾崎喜八  
作曲 平井康三郎

一

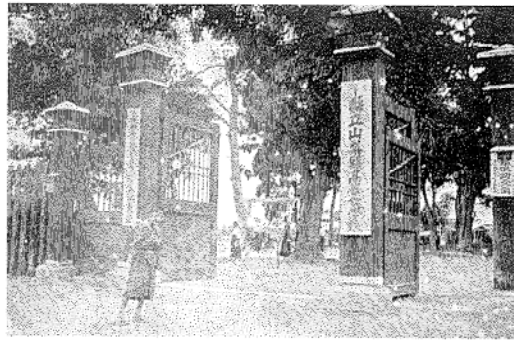
立ちならぶ四方の山々  
めぐり出る豊のながれに  
美はしや甲斐の國中  
歴史古る大さ都よ  
ここにして母校のいらか  
玉の窓空に映えたり

二

身は鍛へ心清めつ  
いや深く學を修めて  
吾の幸と國の榮に  
つくきなむ高き理想よ  
その夢のうつつの姿  
まなかひの富士に見るかな

三

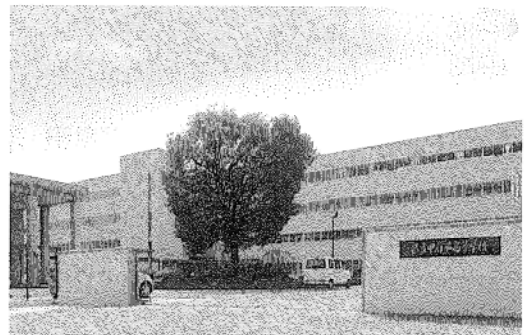
峡深く結ぶ粗玉  
磨かずば光あらじな  
秀づべき資性のさまざま  
生ひ立たす愛の母校よ  
稱へなむとこしへかけて  
甲府なるわが西高



甲府高等女学校



甲府第二高等学校



甲府西高等学校

# 総目次

とびら

校歌

甲女 西高

総目次 . . . . . 1

写真頁 . . . . . 2～3

あいさつ

. . . . . 甲府西高等学校同窓会会長 坂本悦子 4  
. . . . . 第115回定期総会実行委員会委員長 三上弥貴子 5  
. . . . . 甲府西高等学校校長 手島俊樹 6

## 第一部 第115回定期総会

総会次第 . . . . . 7  
平成30年度事業報告書 . . . . . 9～10  
平成30年度同窓会収支計算書 . . . . . 11～12  
第114回同窓会定期総会収支計算書 . . . . . 13  
平成30年度事業報告 企画部 . . . . . 14  
令和元年度事業計画書(案) . . . . . 15  
令和元年度同窓会収支予算書(案) . . . . . 16  
第115回同窓会定期総会収支予算書(案) . . . . . 17  
同窓会役員 . . . . . 18～20  
同窓会会則 . . . . . 21～22

## 第二部 懇親会・アトラクション

懇親会次第 . . . . . 23  
甲府西高音楽部 . . . . . 25  
伸太郎 ライブ . . . . . 26

## 特集

あの頃あの時 . . . . . 27～35

## がんばっている在校生

平成30年度全国大会・関東大会出場および活躍の記録 . . . . . 36  
進路状況 . . . . . 37

## 広告・協賛者御芳名

広告 . . . . . 38～84  
協賛者寄付者 . . . . . 85～106

甲府西高等学校第115回定期総会実行委員会、編集後記 . . . . . 107

奥付 . . . . . 108

# 同窓会2018

第114回定期総会 平成30年5月13日

テーマ: 翔け鳳凰 まごころと友情をのせて〜集え我がふるさとへ〜



第114回定期総会 会長挨拶



新入会員の紹介



実行委員会引継ぎ



甲府西高吹奏楽部



甲府西高吹奏楽部 トーキング



高野美智子 フラメンコ舞踊



高野美智子 フラメンコ舞踊



全員で校歌合唱



お疲れ様でした

# 在校生2018



新入生歓迎会



春季授業公開



鳳凰祭



鳳凰祭



全国高校野球  
選手権大会



全国高校野球選手権大会



芸術鑑賞会



球技会



芸術の森ウォーキング



## あいさつ

甲府西高等学校同窓会  
会長 坂本悦子

五月のさわやかな日々となりました。

本日ここに校長先生をはじめ、恩師の先生方、ご来賓の皆様、世代を超えた多くの同窓生の皆様のご出席のもとに、甲府西高等学校同窓会第115回定期総会が盛大に開催できましたことを、心よりお礼申し上げます。

今年は元号も令和となり大きな節目となりました。昭和生まれの私たちが昭和・平成・令和と、三つの元号を経験することとなりました。

同窓生の皆様には常日頃、同窓会に対しまして、ご協力・ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

明治35年開校以来、校章の姫小松と鳳凰に象徴される伝統は、脈々と受け継がれ、県下屈指の学校となっています。同窓生の皆様も日本国内はもとより、国際社会でも活躍されており、誇らしい限りです。

同窓会は昨年度、定期総会、講演会などを開催し、多くの参加をいただきました。常任理事会、理事会もお忙しい中ご出席をいただき、同窓会のより良い運営のためにご意見をいただいております。5月には東京支部総会、また11月には首都圏西高会交流会に参加しました。青春の多感な時代を過ごした高校生活はいつまでも、決して忘れることのない良き思い出となり、人生に多大な影響を与えていることを実感しました。

昭和52年甲府西高となって、すでに高71回生が同窓会に入会しました。ということは高30回生が総合選抜男女共学1期生ですので42年が経ちました。甲府二高が来年の当番回生高29回生で終了します。甲府西高の歴史がこんなに長くなりました。

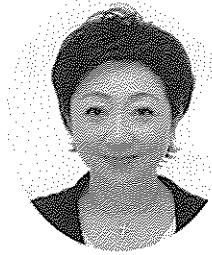
これからは同窓会も新たな一歩を踏み出す時期であると考えます。

事務局も発足し、過去の資料等もきちんと整理され、同窓会の歩みも一目瞭然になりました。東京支部は次期の総会で、長年にわたって活躍なされました山口ひさか支部長が退任し、高30回生総選1期生が引き継ぐこととなります。これからの同窓会は、世代交代の新しい風が吹き込まれることと思います。

同窓会は、同窓生の絆を深め、母校の発展に寄与することが目的です。その実現のためには、なんといっても同窓会からの情報発信を、密に行いたいと考えています。今後とも同窓生のご協力をお願いします。

終わりにりましたが、母校甲府西高等学校のますますのご発展と、同窓生の皆様のご健勝と、ご多幸をお祈り申し上げ、あわせて実行委員の皆様の一年間のご苦勞に感謝申し上げます、挨拶といたします。





## あいさつ

甲府西高等学校同窓会  
第115回定期総会実行委員会  
委員長 三上 弥貴子  
(戸田 みき子)

森羅万象全てが新たなる瞬間を刻む本日ここに、甲府西高等学校同窓会第115回定期総会が無事迎えられますことを大変嬉しく心より感謝申し上げます。

今年度は新たなる元号令和に変わり歴史的な始まりと共に、4月10日に誕生された甲府記念日ホテルでの初めての定期総会開催に際しまして、多くの関係者の皆様方のご理解とご協力を賜りましたことにも心より厚く御礼申し上げます。

今回の当番幹事は高28回生を中心として、高8、高18、高38、高48回生が担当となり様々な諸事情により遅いスタートとなりました。新元号で行われる記念すべき同窓会総会。新しい事づくめの中、試行錯誤しながら、知恵を出し合い工夫をして準備を進めて参りました。

本校は、甲府高女、甲府二高、甲府西高と名称が変わり女子高であったり男女共学になったりと変遷がある中に於いても、各回生の先輩、在校生、同窓生が歴史の重みと誇りをしっかり持ち信頼の絆で結ばれて今日に至っています。

そこで私達は第115回の同窓会のテーマを「歴史と伝統 素晴らしき未来 さあ～新しい時代へ my life your life」と致しました。同窓会は同窓生間の親睦、懇親、母校、後輩への後援などを目的とする意義を理解し、本校の輝かしい歴史と伝統を踏まえ、新しい時代や世代を超えて在校生、同窓生が信頼の絆で結ばれ、より良い未来を創っていくことを願います。次の時代を受け継ぐ人たちが平和で穏やかな未来にしていける一端を担えればと思います。

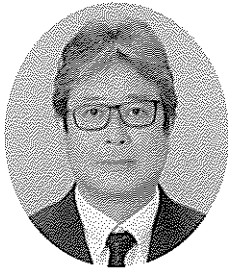
同窓会誌の「特集」は今回の新たなる時代の幕開けにふさわしい方々をお願い致しました。

アトラクションは山梨県内外で活躍されているシンガーソングライターの「伸太郎」氏をお招きしての臨場感溢れるコンサートをお楽しみ頂きます。また、在校生の合唱部による躍動感溢れる素晴らしい歌声もお楽しみいただきたいと思います。

進行にも工夫をしておりますので、皆様が青春時代に戻られ楽しいひとときを心ゆくまで楽しんで頂き大切な思い出の1ページに加えて頂けたら幸いです。

最後に、ご支援・ご協力賜りました各企業・同窓会員各位・お力添え下さいました皆様方に心より感謝申し上げます。

伝統ある甲府西高等学校同窓会の益々のご発展と皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



## あいさつ

甲府西高等学校  
校長 手島 俊 樹

立ち並ぶ四方の山々も緑が照り映え、学びの窓からは爽やかな風が吹き抜ける好季節となりました。本日のこの佳き日に、第115回同窓会定期総会が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。また、皆様には、平素より母校の教育振興のため特段のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

明治35年に山梨県高等女学校として、女子高等普通教育を行う使命をもって産声をあげた本校は、戦後の学制改革による甲府第二高等学校への移行、甲府総合選抜制度のもとでの男女共学と甲府西高等学校への校名変更など、幾多の変遷を辿りながら、明治、大正、昭和、平成を駆け抜けてきました。

教育においてよく用いられる言葉に「不易流行」という俳聖松尾芭蕉の言葉がありますが、学校にとって創立の精神は「不易」でなければならず、女子教育の先駆としての自負のもと、教育の裾野を広げ、豊かな素養と人間性を培い、人々の幸せと社会の発展に尽くす人材の育成という精神は、今も変わらず脈々と受け継がれております。現在の生徒たちも学問はもとより、様々な活動に積極的に挑戦し自らを鍛えており、部活動での活躍、鳳凰祭等での創造性溢れる発表やおもてなしの心などからは、諸先輩方が残した足跡をしっかりと受け継ぎ、先輩方に続こうとする意欲が感じられます。

一方、建学の精神を体現するためには、時代の変化を見据えた改革である「流行」は欠かせないものであり、両者の根本は同一であります。本校も、多様なニーズに応える教育を目指し、単位制へと改編しましたが、来年度からはグローバル化を見据え、単位制の選択科目として国際バカロレアを導入し、教育内容の更なる充実を図る予定です。同窓会の皆様には、新たなステージへと歩みを進める本校への益々のお力添えをお願いする次第です。

結びに、同窓会定期総会実行委員の皆様方のご尽力に対し、心から敬意を表するとともに、同窓生の皆様方の益々のご健勝、同窓会の更なる発展をご祈念申し上げ、ごあいさつといたします。

# 第115回甲府西高同窓会定期総会 第1部 次第

日時 令和元年5月11日(土)  
9時30分受付  
10時30分開会  
場所 甲府 記念日ホテル

- 1 開会のことば
- 2 物故 恩師・会員に黙祷
- 3 同窓会長あいさつ
- 4 学校長あいさつ
- 5 議長選出
- 6 議 事
  - (1) 平成30年度 事業報告
  - (2) 平成30年度 会計報告
  - (3) 第114回定期総会 会計報告
  - (4) 会計監査報告
  - (5) 役員改選・新役員委嘱
  - (6) 令和元年度 事業計画 (案)
  - (7) 令和元年度 予算 (案)
  - (8) 第115回定期総会 予算 (案)
  - (9) その他
- 7 議長解任
- 8 新入会員紹介・花束贈呈 (高71回生)
- 9 傘寿の祝い (高10回生)
- 10 次期 第116回定期総会当番回生へ引継ぎ (高29回生)
- 11 閉会のことば

# 平成30年度 事業報告書

平成30年

- 4月7日 母校入学式 会長出席
- 5月13日 第114回同窓会定期総会 於 富士屋ホテル  
第1部 総会  
出席者709名 総会誌・第21号会報配布  
1 平成29年度事業報告と会計報告及び監査報告  
2 平成30年度事業計画案及び予算案提出 承認される  
3 高9回生の出席者61名に傘寿記念品贈呈  
4 次期当番回生への引き継ぎ  
第2部 懇親会 アトラクション  
1 甲府西高吹奏学部の発表  
2 高野美智子(高37) フラメンコ舞踊
- 5月26日 西高吹奏学部定期演奏会 於 コラニー文化ホール 会長出席 祝金贈呈
- 5月27日 東京支部総会 出席者80名 於 東京高輪プリンスホテル  
顧問・正副会長出席 祝金贈呈
- 6月4日 第1回常任理事会 於 鳳凰館  
1 新年度の事業について  
2 第114回定期総会報告・反省  
3 第115回定期総会への要望  
4 各部の報告、今年度活動計画など
- 6月19日 第56回西美会展(6月19日～6月24日) 於 県立美術館 会長出席 祝金贈呈
- 6月20日 第1回理事会 於 鳳凰館  
1 新年度の事業について  
2 第114回定期総会報告・反省  
3 第115回定期総会(平成31年5月11日)への要望  
4 各部の報告、活動計画  
5 校歌の歌詞について～90周年記念誌の表記が正確である
- 6月30日 鳳凰祭オープニング 於 文化ホール 会長出席 祝金贈呈
- 9月27日 第2回理事会 於 鳳凰館  
講演会 「ベトナム・クエンナム省《24軒になった【仁愛の家】世界のモデルケースになる》」 講師：平松伴子(高12)  
寄付金2万円贈呈  
1 第114回定期総会の会計報告  
2 第115回定期総会の進捗状況  
3 31年度役員改選について
- 10月12日 第2回常任理事会 於 鳳凰館  
1 企画部事業報告及び来年度への要望  
2 第114回定期総会の決算報告  
3 第115回定期総会の進捗状況  
4 奨学金を生徒5名に贈呈

## 平成31年

- 1月5日 第3回常任理事会・新年互礼会 於 談露館
- 1 平成31年度事業について
  - 2 年末助け合い募金 総額169,000円 学校へ教育振興費50,000円、山日に119,000円
  - 3 第115回定期総会の進捗状況
- 2月4日 第4回常任理事会 於 鳳凰館
- 1 卒業記念品及び同窓会入会式・卒業式について
  - 2 平成31年度役員の改選について
  - 3 第115回定期総会の進捗状況
- 2月4日 第3回理事会 於 鳳凰館  
総会チケット配布及び協賛金受付
- 1 平成31年度の事業について
  - 2 卒業記念品及び同窓会入会式・卒業式について
  - 3 平成31年度の役員改選について
  - 4 第115回定期総会の進捗状況
  - 5 講演会の報告
  - 6 歳末助け合い募金について
- 2月28日 同窓会入会式 於 西高体育館 正副会長以下役員出席
- 3月1日 卒業証書授与式 会長・副会長出席
- 3月22日 第5回常任理事会 於 鳳凰館
- 1 平成30年度事業報告及び決算報告
  - 2 平成31年度新役員について
  - 3 平成31年度の事業計画（案）及び予算（案）について
  - 4 平成31年度の講演会（定期総会配布用ちらし案）について
  - 5 第115回定期総会の進捗状況
  - 6 第115回定期総会次第と役割分担について
- 総会チケット回収と会費集金
- 4月1日 第4回理事会 於 鳳凰館  
総会チケット回収と会費集金 最終
- 1 平成30年度事業報告と決算報告
  - 2 平成31年度新役員について
  - 3 平成31年度の事業計画（案）及び予算（案）について
  - 4 第115回定期総会の進捗状況

※ その他執行部・各部会は会議を年間数回実施して会の運営にあたる

# 平成30年度 同窓会収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

収入総額	支出総額	差引額
3,730,660	2,771,978	958,682

## 収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
前年度繰越金	559,366	559,366	0	
会 費	2,330,000	2,310,000	20,000	新会員会費10,000円×231名
寄 付 金	0	0	0	
雑 収 入	1,000	861,294	△ 860,294	総会残金411,189円 利息10円 定期解約450,095円
収 入 合 計	2,890,366	3,730,660	△ 840,294	

## 支出の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
謝 礼 金	30,000	30,000	0	講演会謝礼
旅 費	70,000	43,710	26,290	支部総会・首都圏西高会参加等
消 耗 品 費	40,000	18,307	21,693	事務用品等
記 念 品 代	233,000	231,000	2,000	卒業生231人分記念品
会 議 費	400,000	436,436	△ 36,436	常任理事会・専門部活動等
印 刷 製 本 費	350,000	351,164	△ 1,164	会報等印刷
通 信 運 搬 費	80,000	68,833	11,167	理事会通知等
手 数 料	30,000	23,436	6,564	銀行貸金庫・残高証明・振込手数料等
教 育 振 興 費	1,000,000	1,000,000	0	学校協力費
雑 費	20,000	19,092	908	お礼・挨拶用菓子等
慶 弔 費	30,000	0	30,000	
活 動 費	140,000	100,000	40,000	支部総会・各種催事祝金等
事 業 費	450,000	450,000	0	総会準備金、奨学金
同窓会積立金	0	0	0	
予 備 費	17,366	0	17,366	
支 出 合 計	2,890,366	2,771,978	118,388	

## 平成30年度 同窓会収支計算書

現 金	131,210
普通預金	827,472
定期預金	26,304,717

上記の通り報告いたします。

平成31年3月31日

会計担当

安達映美 (印) 室方みづほ (印)  
土屋和子 (印) 望月かつ (印)

厳正に監査の結果、諸帳簿、証票ともに適正に処理されていたことを確認しました。

平成31年4月6日

会計監査員

欠保嶋 仁 (印)  
塩島 正文 (印)

# 第114回 同窓会定期総会収支計算書

収入総額	支出総額	差引額
6,964,963	6,553,774	411,189

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
広告・協賛金	3,000,000	3,264,948	△264,948	企業・会員等からの広告・協賛金・寄付金
総会会員券	3,000,000	3,455,000	△455,000	会費収入 5,000円×691枚
総会準備金	200,000	200,000	0	本会より補助
雑収入	50,000	45,015	4,985	祝金・利息等
収入合計	6,250,000	6,964,963	△714,963	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
謝礼金	500,000	552,360	△52,360	アトラクション諸経費
消耗品費	50,000	73,586	△23,586	事務用品等
印刷製本費	950,000	1,004,508	△54,508	総会誌・会員券・写真代等
通信費	50,000	119,155	△69,155	来賓案内状・連絡通信費
記念品代	300,000	188,521	111,479	傘寿・来賓の記念品代
広告費	220,000	215,676	4,324	山梨日日新聞広告掲載料
会場費	3,890,000	4,255,338	△365,338	総会・懇親会会場費・食事代等
会議費	250,000	142,392	107,608	実行委員会会議費
予備費	40,000	2,238	37,762	銀行振込手数料等
支出合計	6,250,000	6,553,774	△303,774	

上記の通り報告いたします。

平成31年 4月 6日

実行委員長

日下部 俊子 


会計部長

宮川 由美子 


厳正監査の結果、諸帳簿、証票ともに適正に処理されていたことを確認しました。

平成31年 4月 6日

会計監査員

久保嶋 仁 

会計監査員

塩島 正文 



## 平成30年度 事業報告 企画部

講演会 9月27日(木曜日) 13:30~14:30 於 鳳凰館

演 題 『ベトナム・クアンナム省  
《24軒になった「仁愛の家」》  
世界のモデルケースになる』

講 師 平松伴子 (高校12回生)



### 出席者感想

👤: 同じ12回生でしたが世界的にこんな活躍をしていた同級生がいたことに誇りを感じます。

👤: ベトナムに於ける日本の立場が少しわかりました。

このような企画をして頂きましたことに感謝しています。

《平松伴子》(埼玉JVPF 副会長。日本ベンクラブ会員)

今年も大変お世話になりました。ベトナムの人々に成り代わりまして心から御礼申し上げます。ラオス国境の「仁愛の家」も30軒目が建設されております。皆様にはご健康に十分に留意され、爽やかな新年をお迎えくださいますようお願い申し上げます。

又、平和な年になることを願っております。有難うございました。

2018年12月25日

# 令和元年度 事業計画書(案)

## 1. 第115回定期総会の開催と第116回定期総会の準備

総会は同窓会の一大事業として、実行委員会に付託し、世代を超えた多くの同窓生が参加し、交流と親睦を深める場とする。

## 2. 理事会及び常任理事会の開催と会議録の作成

理事会、常任理事会など、諸会議の通知はもとより、会議内容、決定事項は会議録に残し、保管する。甲府西高同窓会HPに日程を掲載する。

## 3. 会報の発行と配布

会報は同窓会及び同窓生の活動を伝えるために、内容の充実に努め、会員に愛され喜ばれる誌面にする。そのために各専門部や各支部から多角的に記事を集め、編集する。配布は入会式、総会で行う。

## 4. 回生の活動

各理事を中心にした回生毎の活動では、会報並びに「110周年記念DVD」等を有効に活用し、本会との連携を密にする。

## 5. 講演会の開催

講演会の実施や各種イベントの開催等を行い、同窓生のなお一層の親睦を図る。

## 6. 学校行事への参加と協力

同窓生のキャリアを生かして、学校行事には積極的に参加・協力し、在校生との交流を図る。

## 7. 教育振興会への援助

教育振興会を通して、学校施設の充実と在校生の教育活動を支援する。

## 8. 同窓生名簿の管理

同窓生の住所変更等の異動については、各回生からの連絡を受けた都度、速やかに処理する。

## 9. 奨学金の贈呈

奨学金を贈呈して、母校の生徒の勉学を支援する。

## 10. ホームページの整備と活用

ホームページに情報を掲載し発信する。併せて、運用ルールを整備する。

・同窓会公式ホームページ <https://www.kofunishikou.com>

・甲府西高の公式ホームページ <http://www.nishi.kai.ed.jp/>の「同窓会」からも見る事が出来ます。



## 令和元年度 同窓会収支予算書(案)

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

収入総額	支出総額	差引額
3,329,682	3,329,682	0

## 収入の部

(単位:円)

科 目	元年度予算額	30年度予算額	増 減	備 考
前年度繰越金	958,682	559,366	399,316	
会 費	2,370,000	2,330,000	40,000	
寄 付 金	0	0	0	
雑 収 入	1,000	1,000	0	利息等
収 入 合 計	3,329,682	2,890,366	439,316	

## 支出の部

(単位:円)

科 目	元年度予算額	30年度予算額	増 減	備 考
謝 礼 金	90,000	30,000	60,000	講師謝礼等
旅 費	70,000	70,000	0	支部総会・首都圏西高会参加費等
消 耗 品 費	40,000	40,000	0	事務用品等
記 念 品 代	237,000	233,000	4,000	卒業記念品等
会 議 費	450,000	400,000	50,000	常任理事会、専門部活動等
印 刷 製 本 費	360,000	350,000	10,000	会報等印刷
通 信 運 搬 費	80,000	80,000	0	理事会通知等
手 数 料	30,000	30,000	0	銀行貸金庫、残高証明・振込手数料等
教 育 振 興 費	1,000,000	1,000,000	0	学校協力費
雑 費	20,000	20,000	0	お礼・挨拶用茶菓子等
慶 弔 費	30,000	30,000	0	
活 動 費	140,000	140,000	0	支部総会・各種催事祝金等
事 業 費	450,000	450,000	0	総会準備金、奨学金
同窓会積立金	0	0	0	
予 備 費	332,682	17,366	315,316	
支 出 合 計	3,329,682	2,890,366	439,316	

# 第115回 同窓会定期総会収支予算書(案)

収入総額	支出総額	差引額
6,250,000	6,250,000	0

## 収入の部

(単位：円)

科 目	元年度予算額	30年度予算額	増 減	備 考
広告・協賛金	3,000,000	3,000,000	0	企業、会員等からの広告・協賛金
総会会員券	3,000,000	3,000,000	0	会費収入 5,000円×600枚
総会準備金	200,000	200,000	0	本会より補助
雑収入	50,000	50,000	0	祝金、利息等
収入合計	6,250,000	6,250,000	0	

## 支出の部

(単位：円)

科 目	元年度予算額	30年度予算額	増 減	備 考
謝礼金	500,000	500,000	0	アトラクション諸経費
消耗品費	50,000	50,000	0	事務用品費
印刷製本費	950,000	950,000	0	総会誌・会員券・写真代等
通信費	50,000	50,000	0	来賓案内状、連絡通信費
記念品代	300,000	300,000	0	傘寿・来賓の記念品代
広告費	220,000	220,000	0	山梨日日新聞広告掲載料
会場費	3,900,000	3,890,000	10,000	総会・懇親会会場費・食事代等
会議費	240,000	250,000	△ 10,000	実行委員会会議費
予備費	40,000	40,000	0	銀行振込手数料等
支出合計	6,250,000	6,250,000	0	

# 同窓会役員

令和元年度

甲府西高同窓会  
平成31年4月1日現在

役職	氏名
顧問 校長	手島俊樹
〃 教頭	権太正弘
〃 教頭	赤池宏己
〃 事務長	森田秀
校内 総務	渡辺久弥
〃 理事	小林健之
〃 理事	長田光之
〃 理事	志村美紀

役職	回生	氏名
顧問	高3	一木麗子
〃	高14	長坂光子
会長	高15	坂本悦子
副会長	高17	羽田喜久枝
〃	高30	石原敬 <sup>久</sup> 彦
〃	高30	窪田さゆり
〃	高30	深川和彦
〃	高31	上原重樹
〃	高31	東條正人
〃	高36	入倉要
東京支部長	高30	米山正樹
常任理事	高3	小林美佐代
〃	高8	小畔柳浩子
〃	高14	松本さか江
〃	高18	藤原静
〃	高18	新海宏子
〃	高18	窪島満喜子
〃	高18	安達映美
〃	高19	浅尾三枝子
〃	高20	土屋和子
〃	高20	小野成美
〃	高21	小川けい子
〃	高22	大久保はるみ
〃	高23	長谷部澄子

役職	回生	氏名
常任理事	高23	望月かつみ
〃	高25	長田美沙子
〃	高27	長倉美穂
〃	高30	塚脇亮一
〃	高30	成島孝明
〃	高30	深澤寿子
〃	高30	本道民呼
〃	高33	渡辺和弘
〃	高38	山縣正道
会計監査	高30	久保嶋仁
〃	高30	塩島正文
実行委員長	高29	曾根順子

役職	回生	氏名
理事	甲女38	林俊子
〃	甲女38	浅川たかね
〃	甲女42	志村和
〃	甲女42	京ヶ島民子
〃	甲女42	古沢なつき
〃	甲女42	渡辺清子
〃	甲女43	堀内淳子
〃	甲女43	村松眞由美
〃	甲女44	荻原ミツ子
〃	甲女44	小林英子

1722

役職	回生	氏名
理事	高1	犬飼 寿子
〃	高1	西川 早苗
〃	高2	深沢 はるみ
〃	高2	渡辺 可子
〃	高3	川村 洽子
〃	高4	小林 祐子
〃	高4	越石 惟子
〃	高5	中澤 勝子
〃	高6	今澤 良子
〃	高6	近藤 たま乃
〃	高6	今村 兼子
〃	高7	荒木 波満子
〃	高8	小池 たへ子
〃	高8	新井 益子
〃	高9	田之口 邦子
〃	高10	有泉 志づ子
〃	高10	後藤 武子
〃	高10	青島 洋子
〃	高11	青柳 八重子
〃	高12	薬袋 寿子
〃	高12	磐上 百合子
〃	高13	塩島 泰恵子
〃	高13	山口 静子
〃	高14	中澤 澄子
〃	高14	中島 美智子
〃	高14	米山 紀子
〃	高15	中村 スミ江
〃	高15	内田 大和子
〃	高16	小田切 浩子
〃	高16	田村 昭子
〃	高17	内藤 松代子
〃	高17	畑 和子
〃	高17	樋口 八重子
〃	高17	岡本 和子
〃	高17	小川 澄子
〃	高18	清水 淳子
〃	高18	松本 由美子
〃	高19	岡部 圭子
〃	高19	熊木 俊子
〃	高19	大木 節子

役職	回生	氏名
理事	高20	松野 和美子
〃	高20	飯寄 勝子
〃	高20	小池 美恵子
〃	高21	仲澤 マチ子
〃	高21	依田 よし子
〃	高21	村松 昭子
〃	高22	小林 和子
〃	高22	渡辺 郁子
〃	高23	地場 裕子
〃	高23	中込 千春
〃	高23	沢登 三千子
〃	高23	清水 公子
〃	高24	久津間 恵理子
〃	高24	塚崎 淳子
〃	高24	桂嶋 恵美
〃	高25	大久保 みどり
〃	高25	梶原 澄江
〃	高25	若月 財子
〃	高26	高根 正美
〃	高26	鶴田 みつ子
〃	高26	小田切 厚美
〃	高26	山下 由美子
〃	高26	丸山 みえ子
〃	高27	日下部 俊子
〃	高27	宮川 由美子
〃	高27	古屋 真紀子
〃	高28	長田 尚美
〃	高28	遠藤 明子
〃	高28	長澤 伸子
〃	高29	青山 和子
〃	高29	一瀬 晴美
〃	高30	猪股 尚幸
〃	高30	橋田 豊明
〃	高30	伴野 正恵
〃	高30	高野 恵二
〃	高31	赤池 浩三
〃	高31	清田 明子
〃	高31	近山 貴紀
〃	高31	神宮 司易
〃	高32	池田 敏成

役職	回生	氏名
理事	高33	満章 池村 宏
〃	高34	博之 中本 一
〃	高34	仁 坂市 八
〃	高34	弘 卷上 雅
〃	高35	史 井朱 石
〃	高35	仁 原澤 丹
〃	高35	幸 堤神 北
〃	高36	伸 山条 繁
〃	高36	仁 裕 昌
〃	高36	寿 田澤 一
〃	高37	章 堀七 小
〃	高37	昭 尾木 山
〃	高37	信 尾木 山
〃	高37	久 遠平 北
〃	高37	男 塚澤 水
〃	高38	朗 晃秀 千
〃	高38	人 秀 千
〃	高39	昭 雅 尚
〃	高39	弘 尚 文
〃	高40	美 藤内 利
〃	高40	香 藤内 利
〃	高40	一 内山 若
〃	高41	彦 林口 上
〃	高42	美 法 充
〃	高43	男 井前 嶋
〃	高43	邦 嶋 陽
〃	高44	か 杉山 永
〃	高45	ず 杉山 永
〃	高45	子 萩 鈴
〃	高46	学 萩 鈴
〃	高46	弓 真 達
〃	高46	也 萩 鈴
〃	高47	一 金 藤
〃	高47	彩 樋 海
〃	高47	一 樋 海
〃	高47	一 樋 海
〃	高48	加 樋 海
〃	高49	一 樋 海
〃	高50	加 樋 海
〃	高51	一 樋 海

役職	回生	氏名
理事	高51	子太美 敬慶 藤利 進
〃	高52	美 明 利 浅
〃	高52	司 浩 田 深
〃	高53	太 勇 田 上
〃	高54	美 芳 本 坂
〃	高54	一 友 沢 柗
〃	高55	帆 村 今 藤
〃	高55	稔 原 山 藤
〃	高55	人 山 野 向
〃	高56	子 丸 山 波
〃	高56	太 丸 山 丸
〃	高57	美 木 上 鈴
〃	高57	紀 水 上 鈴
〃	高58	匠 水 上 鈴
〃	高59	美 内 松 藤
〃	高59	陽 内 松 藤
〃	高60	美 望 野 月
〃	高60	太 望 野 月
〃	高61	沙 渡 矢 渡
〃	高61	司 渡 矢 渡
〃	高62	な 藤 齊 一
〃	高62	樹 藤 齊 一
〃	高63	子 保 菜 俊
〃	高63	樹 保 菜 俊
〃	高64	愛 山 木 野
〃	高64	志 山 木 野
〃	高65	音 青 横 五
〃	高65	行 青 横 五
〃	高66	咲 味 口 林
〃	高66	太 味 口 林
〃	高67	奈 小 松
〃	高67	平 小 松
〃	高68	帆 笹 粟
〃	高68	河 笹 粟
〃	高69	穗 松 寺 中
〃	高69	真 松 寺 中
〃	高70	里 飯 大 長
〃	高70	仁 飯 大 長
〃	高71	寛 野 沢
〃	高71	樹 野 沢

# 同窓会会則

## 第1条 (名称)

本会は、山梨県立甲府西高等学校同窓会と称する。

## 第2条 (目的)

本会は、会員相互の親睦をはかり、母校との連絡を密にしつつ、進んで相互の向上進歩をはかることを目的とする。

## 第3条 (組織)

本会は、下記の者をもって組織する。

1. 会員 (1) 普通会員-県立山梨県高等女学校・山梨県立高等女学校・山梨県立第一高等女学校・山梨県立甲府高等女学校の本科並びに専修科・実科の卒業生、補修科・専攻科修了生、併設中学校卒業生、山梨県立甲府第二高等学校、山梨県立甲府西高等学校卒業生

(2) 準会員-本会設立家政研究科修了生及び本校に在籍した者の中の希望者で、2名以上の会員から推薦された者

2. 客員 母校の職員及び旧職員

## 第4条 (役員)

本会に下記の役員をおき、任期を2ヵ年とする。ただし再選をさまたげない。

1. 会長 (1 名) 会長は、本会を代表し、会務を総括する。選出は理事会の互選により選出し総会の承認を得る。
2. 副会長 (若干名) 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは代行する。選出は理事の中より会長が委嘱する。
3. 事務局長 (1 名) 事務局は、庶務、企画、会計各部と会長副会長との連絡調節、各種記録の保存管理等本会の業務全般の事務処理を担当する。
4. 庶務部長 (1 名) 庶務部は、議事録の作成、行事全般の記録、欠席役員に対しての連絡通達、会報の作成等を担当する。
5. 企画部長 (1 名) 企画部は、講演会、レクリエーション等、同窓会事業の立案、回生対策等を担当する。
6. 会計部長 (1 名) 会計は、一般会計及びその他の会計の金銭管理、事業予算対策及び終身会費の徴収等を担当する。

※ 上記の事務局長、庶務、企画、会計の各部長1名、事務局次長2名、各副部長2名を選出する。事務局次長、副部長は、事務局長、部長を補佐し局長部長事故あるときは代行する。事務局長、事務局次長、各部長、副部長の選出を、理事及び理事経験者の中より会長が委嘱する。

7. 常任理事 (若干名) 理事及び理事経験者の中より会長が委嘱する。事務局、庶務、企画、会計の各部門に所属し事務を担当する。



8. 理 事 各回生より選出し会長が委嘱する。諸事項を協議し、本会と回生の連絡に当たる。
9. 校内理事（若干名）母校の職員から会長が委嘱する。母校と本会との連絡に当たる。
10. 会計監査（2名）理事の互薦により選出し、総会の承認を得て会計監査に当たる。
11. 顧 問（若干名）母校の現職の校長・教頭及び本会の会長であった者は顧問とする。また本会のために特に適当と認められた者は、理事会において推薦し、顧問とする。名誉顧問をおくこともできる。

第5条（総会・入会式）

定期総会は、毎年度できるだけ早期に開催する。但し、必要に応じて臨時総会を開くことができる。新会員入会式は、卒業式の前日に行う。

第6条（役員会）

会長は、必要に応じて常任理事会・理事会を召集する。

第7条（事業）

本会は、次の事業を行う。

- (1) 会報及び名簿の発行
- (2) 在校生への奨学金制度
- (3) その他本会の目的達成に関して必要と認められた事業

第8条（決議）

本会の決議は、総会において、出席会員の過半数の同意を得てこれを定める。

第9条（経費）

本会の経費は、入会金・終身会費並びに寄付金をもってこれに当てる。

- (1) 会員は、入会の際、入会金、終身会費を納入する。
- (2) 昭和57年度以前の会員は、終身会費を納入する。

第10条（会計年度）

本会の会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

第11条（届出事項）

- (1) 会員は、その住所・氏名に変更があったとき、その他一身上の異動のあったときは、直ちに事務局に通知する。
- (2) 本会に支部を置くことができる。
- (3) 会員が本会の後援を必要とする場合は、別紙に必要事項を記載の上、会長に届出、理事会の承認を得る。

第12条 会員及び客員の慶弔、その他の件については、別に決めた内規により行う。

付 則 この会則は平成11年4月29日から施行する。

改訂 平成16年5月2日

改訂 平成28年5月15日

改訂 平成29年5月14日

## 第2部

### 懇親会次第

〈12:00～15:00〉

- 1 はじめのことば
- 2 実行委員長あいさつ
- 3 来賓紹介・来賓あいさつ
- 4 乾杯
- 5 アトラクション
  - (1) 甲府西高音楽部
  - (2) 伸太郎LIVE
- 6 校歌斉唱
- 7 万歳三唱
- 8 おわりのことば

## 音楽部

## 「音楽部の紹介」

甲府西高等学校音楽部  
顧問 向山直貴

皆様こんにちは。この度は私たち音楽部に発表の場を与えていただき、部員一同、心より感謝しております。

音楽部には個性が光る愉快的仲間が集まってきます。そんな仲間たちが同じ方向を向いて進むことは予想以上に難しく、ときには大きな壁にぶつかることもありました。しかし、その度に仲間同士で支えあい、少しずつではありますが着実に前へと歩みを進めて参りました。

昨年度2月の山梨のヴォーカルアンサンブルコンテストでは県大会で金賞をいただき、3月には茨城で行われた第8回ヴォーカルアンサンブルコンテストに出場して参りました。

今年度も新たな仲間を迎え、活動が始まりました。私たちにしか作れない音楽を目指し、高校生の今だからこそ感じることのできる想いや感情を歌に紡ぎだせるよう、日々努力していきます。

これからも温かいご支援をよろしくお願いします。



# 特集

あの頃

あの時



## 思い出すことなど

恩師

乙 黒 幸 江 先生

平成30年7月、昭和51年3月に甲府二高を卒業した人たちの同級会が、古名屋ホテルで行われました。28回生です。賑やかで晴れやかで若々しく、還暦を過ぎたとは思えないほど活力にあふれていました。あのとき16歳だった少女たちが、還暦を過ぎて目の前にいる、ということに改めて年月の不思議を思い感動しました。

甲府二高が寿町の校舎から、現在の甲府西高に場所に引っ越したのが、1975年（昭和50年）2月、大雪の後で道が泥濘んでいたことが思い出されます。2年生の3学期でした。引っ越しの日の事は、誰もがよく覚えていて、懐かしそうに話していました。

アルバムを開くと学校の委員会や部活動の名称に、驚かされるものがいくつかあります。そのひとつが「風紀委員会」。講堂に集められて、スカートの丈を測られて怒られました、と笑いながら抗議する人もいました。その頃制服のスカート丈は長いのが流行だったようです。40数年前の事ですが、確かにそんな服装検査をしたことが思い出され、ごめんなさい、と深く謝りました。「風紀」なんていう言葉も今は殆ど聞かれません。この半世紀近くの間、教育も大きく変わり、価値観も変わりました。今だったら本当に大問題ですね。反省しきりです。甲府二高は、私にとって二つ目の勤務校で、年齢的には二十代の終わりから三十代半ばまでの勤務でした。

共学になってから、3年生としての1年間を新校舎で過ごした思いはどうだったのか。聞いてみると意外にも肯定的な意見が多く、適度な緊張感があり、今までののんびりムードが一変した等という捉え方もありました。気になっていたことですが、甲府二高を誇りに思い、共学を前向きに捉えていることに少し安堵しました。

先生方がパソコンに向かって仕事をすることもなく、先生同士のコミュニケーションも円滑で、職員室にはいつも話し声や笑い声があり、忙しい中でもゆったりした時間が流れていた良き時代でした。

### プロフィール

出生 昭和16年(1941)4月 甲府市  
 学歴 山梨英和高校・山梨大学教育学部(国文学科)卒業  
 職歴 都留高校、甲府二高(甲府西高校)、巨摩高校、甲府昭和高校、ろう学校(教頭)、甲府昭和高校(教頭)  
 退職後 山梨県総合教育センター(嘱託)、中央市立玉穂生涯学習館(図書館)館長(嘱託)、山梨県人権擁護委員連合会会長(法務大臣表彰)、山梨県立文学館協議会委員、山梨県読書活動推進実施計画策定委員、NPO山梨子ども図書館理事



## 「茶道の教え」

茶道裏千家名誉師範

渡辺久子(宗友)

(高8回生)

第113回定期総会に於いて、高8回生の傘寿のお祝いをして頂き、久しぶりに懐かしい友とお会いする事が出来ました。企画して頂きました実行委員の皆様にご心より感謝申し上げます。

私は現在、日本の伝統文化である、茶道の世界で若い方達の育成に研鑽を積んでおり、自分自身もまだまだ修行中でございます。

この道に入門してもう50年を過ぎようとしております。良き師匠と出会い大勢の方々とお縁があり学生の頃には巡り合うこともしなかった知らない事、歴史、文化を学ぶ事が出来ました。

茶道の真髄の教えに「和敬清寂」と利休七則の教えがあります。「茶は服のよきように点て」「炭は湯の沸くように置き」「冬は暖に夏は涼しく」「花は野の花のように生け」「刻限は早めに」「降らずとも雨の用意」「相客に心せよ」これはすべて社会生活に大切な事だと存じます。また「一碗からピースフルネス」と世界平和も願っています。

高台寺では、北政所を偲び、月命日の六日にちなんで毎年十月六日に、献茶式法要と拝服席が行われております。幸運に恵まれその一席である圓徳院北書院に於いて、私は茶席を持つ機会をいただきました。500年からの歴史あるすばらしい庭を前景に茶会を催しました。全国からまた外国の方々大勢のお客様をお迎えし貴重な経験をする事が出来ました。

社中一同伝統文化を継承する行事の一端に参加させていただきました喜びと日本の文化のすばらしさを再認識する事が出来ました。

現在県立東高校の茶道部の指導に15年間伺っております。

これからも私をお導きくださった師匠、先輩達に感謝をしながら若い方たちの育成に精進してまいりたいと存じます。

プロフィール	昭和49年1月14日	宗名拝受	宗友
	昭和64年1月 1日	社団法人茶道裏千家淡交会山梨支部幹事	
	平成12年6月19日	教授拝受	
	平成13年1月	山梨支部常任幹事	
	平成15年7月 2日	正教授認定	
	平成17年1月	山梨支部幹事長	関東第2地区委員
	平成19年1月	青年部育成委員会副委員長	学校茶道連絡協議会監事
	平成21年1月	山梨支部参与支部監事	
	平成27年3月28日	名誉師範稱號贈与	



## 「青い感性の特別な時代」

仁 科 幸 子

(高28回生)

大人になって、少女から大人に変わる多感な時期が、自分の感性や心を育むのにどんなに大きな影響を与えていたか?、に気づく。

少し家から遠い学校への道を、毛糸の手袋をはめ毛糸のマフラーをして、寒い冬の道を必死で歩いたり、八ヶ岳おろしと呼ばれる冷たい風の中、山々に沈む美しい夕日を見ながら帰った時のほっぺの冷たさを、その感覚を今でも覚えている。

私の高校生時代は、美大を受験するのに高校一年生から美術の研究所に通った思い出の方が心に残っている。ただ、高校の友人が事故か何かで亡くなったと先生から報告を受けた時に、クラス全員で泣いていた教室の様子を思い出すことがある。みんなとても純粋で、大きなショックを受け、青いハートで受け止めていた。

私のクラスは今思えば、かなりクリエイティブな友人も揃っていた。同じクラスから美大に何名も受験したし、毎日ジョーダンを言い合いみんないつも笑っていた気がする。

そんな高校生活の中で特に印象に残っているのは、高校三年生の時にあった出来事だ。書いたように何しろ私は毎日のように、学校の帰りは美術の研究所に通っていた。高校三年ともなると、精神的に受験にある木炭デッサンのことで、頭はいっぱいだった。うまく研究所で描けなかった時の帰り道、よほど私の顔が思いつめていたのだろう。私とすれ違った人が、「怖い!」とすれ違い様に言ったのだ!。そのくらいデッサンに打ち込んでいた。それで思わず受験にない教科が疎かになり、物理だったか、数学だったか? 記憶に定かではないのだけど、期末試験か何かで赤点を取ってしまったのだ。時間があればデッサンをしたかったので、確かに勉強していなかった。

「どうしよう」今から、追試験をしなければいけないとなると、絵に費やす時間がなくなる!!」、途方に暮れていると担当の先生から職員室に呼ばれた。

にこやかな顔で、「君の人生にとって、数学や物理はこの先、あまり大きな意味を持たないだろう」そう言って追試験をしないでくれたのだ。あの時の驚きは今でも覚えている。どんなにホッとしたかしのれない。微分積分やら、私にとってはあまりに苦手な教科だった。

その後、多摩美術大学に現役で合格出来たが、現役の生徒はとて少なく芸大5浪というような同級生がいっぱいいる狭き門だった。今でもその先生に感謝をしている。

今の私は、絵本作家、童話作家、大月市立図書館の館長もしながら、好きな道が仕事となって、とても充実した人生を歩ませてもらっている。八ヶ岳おろしのように必死に駆け抜けた高校生活だったが、この高校生時代があったからの賜物だったのだと感謝と共に、今になって分かる。

### プロフィール

SACHIKO NISHINA 絵本、童話作家 大月市立図書館館長  
山梨県大月市に生まれ、多摩美術大学卒業後、日本デザインセンターにて、世界的グラフィックデザイナー、永井一正氏のもとで活躍、その後、絵本作家となる。並崎市のニエラのキャラクターデザイン制作。  
メキシコ国際ビエンナーレ、富山ポスタートリエンナーレ、スイスグラフィスビエンナーレ、小学館童画大賞ほかで、入賞、入選多数。  
「聖ねごさんのおはなし ちいさなともだち」にて、第29回「浜田ひろすけ童話賞」を受賞。図書館が文部大臣賞受賞。「さらわれもののがらしぼうや」が、第30回全国読書感想画コンクールの指定図書となる。  
作品多数。海外での翻訳、20冊以上。



## 「二高と西高の狭間で学んだこと」

㈱ファーストリテイリング執行役員

大木 満

(高30回生)

1975年4月、私は甲府二高に共学化I期生として入学しました。先輩たちは皆女子で1年生も半分は女子ですから、男子は圧倒的な少数派。先輩は伝統のセーラー服、同級生女子は新鮮なデザインのブレザーと、校内に素敵な二つの制服の女子がいるので、男子としては何だか得した気分でした。

私は中学時代バスケットに熱中していましたが、高校では受験勉強を優先するため運動部には入らないと両親に約束していたものの、一度応援に行くと中学時代は対戦相手だった同級生が1年生だけで他校の上級生に必死に挑んでいる姿を見て我慢できなくなり結局入部しました。以前から女子バスケット部の指導をしていた長身でハンサムな依田公彦先生が顧問でした。

当時の二高の女子バスケット部は常に県優勝を狙う強豪で、弱小男子とは取り組む姿勢が違いましたが、1年生男子もときどきゲーム形式で先輩の練習相手をしたりしながら男女の壁を越えて交流しました。

全員進学希望の1年生男子と違い、先輩たちの進路は多種多様で、我々以上に卒業後の人生を真剣に考えていたので、いろんな刺激を受け、人間の多様性も自然に学んだような気がします。

私は今、アパレル・ブランドの法務責任者として世界中を飛び回っていますが、高校時代に多様性を尊重することや女性の能力の素晴らしさを学んだせいか、私がほぼゼロから築き上げた当社のグローバル法務部門は総勢80人中50人以上が外国人で、60人以上が女性です。

2018年5月には本当に久しぶりに依田先生を囲む会で先輩たちと再会しました。先生が若々しいのには驚きましたが先輩たちもいろんな人生経験を経てますます輝いていました。

二高に入学し西高を卒業するという少し変わった経験でしたが、その後の人生で役立つ学びの多い素晴らしい高校時代でした。



プロフィール	学歴	1978年 3月	高西高等学校卒業	4月	東京大学文科一類入学
		1984年 3月	東京大学法学部卒業		
		1990年 9月	米国イリノイ大学ロースクール入学		
		1991年 5月	米国イリノイ大学ロースクール修士課程修了		
職歴	1984年 4月	旭化成株式会社入社			
	2000年 9月	ノートルネットワークス株式会社入社	法務部長		
	2002年 9月	同社取締役			
	2005年 6月	同社代表取締役			
	2005年 11月	LG-Nortel Co.,Ltd(本社ソウル)法務本部長			
	2007年 9月	マニユライフ生命保険株式会社入社	執行役員		
	2011年 10月	株式会社ファーストリテイリング入社	法務部長		
	2012年 11月	同社執行役員			

資格等 ニューヨーク州弁護士 (1991年登録)





## 友は生きる糧であり、生きてきた証です

井出 仁

(高31回生)

立ち並ぶ四方の山々からは、冬には寒風が吹きおろします。また、夏には焼け付いた盆地の熱波を封じ込める壁となります。四方の山々は、幼いころからふるさとの厳しさを感じさせてくれた山々であります。冬の晴れた朝、西高の窓から見る八ヶ岳の姿は美しくはありましたが、素晴らしさよりも厳しさを感じ、今日も寒いなあ、とため息をついていたものです。当時は、高度経済成長もかげりを見せ始めていたころではありましたが、都会の豊かさや華々しさにあこがれ、一刻も早く山梨を出てゆきたいと常々思いながら学校生活を送り、受験勉強にも勤しんでいたものです。

西高時代に学は、決して深く修めた訳ではありませんでしたが、関西の私学に入学を許され、大学生時代には友人と共に天下国家を語り、時には勇ましい議論を戦わせたこともありました。先輩諸兄からは多くのことを聞かされ、いろいろな本を読み漁りました。その中で、人と人のかかわりが資本・労働という原理で支配されていることを突き止め、世の中を資本と労働者の対立という構造で解き明かし、その解決を導くというダイナミズムに触れた時は大変驚き、とても魅力的で、世界の全てを理解できたかのように思いました。しかし、丁度そのころです、そうした理想を実現しようとしたはずの国々において、国内外で戦争が起こり、労働者が蹂躪され、人々が空腹や恐怖に苦しむ光景が次々と映し出されてきました。何か大きく夢破れたような心を引きずりながら、四方の山々を越え、ふるさと山梨に戻り、今の職を得ることとなりました。

県民の福祉の向上のため頑張る、などといいながら、座学で得た知識や未熟な社会経験からは、当然満足な仕事など出来るはずもありません。職場の上司や先輩方からの指導や助けがなければ、何一つ成果を上げることなどできません。自分の努力不足や準備不足で多くの方々に迷惑をかけることもしばしばです。半ば悔し涙を浮かべながら窓から見る四方の山々は、高校時代と同じように凜として清冽なものでした。誠実に仕事に向き合うとは、あらゆる事態に動じることがないように、自分で納得のできるまで準備し、常に凜としつづける山々のごとく不動の心を得ることだと思い知らされました。

幸いなことに西高・大学と席を並べた友人らの無尽に参加させていただいたのも、その頃です。皆、それぞれ、いろいろな思いや経験を背負いながら、真面目に仕事や暮らしと向き合っていました。それ以来30年、盃を重ねながら、西高で同じ時を過ごし、何を見、何を得たのか改めて語りあってきました。あの日、あの時が瞬く間に戻ってきます。当時と今を重ね合わせることで、若かりし頃を恥ずかしくも楽しくも思い出し、「ああ、あの時はこうすればよかった。あの時にこれを学んでおけばよかった」などと深く反省することも、しばしばあります(飲み過ぎて反省することもあります)。こうしてみると、友は生きる糧であり、生きてきた証でもあります。

「さあ～新しい時代へ～My life your life～」これからも西高で得た友と、共にふるさと山梨を元気に明るく！

プロフィール	1979年	甲府西高 卒
	1983年	同志社大学 卒
	1984年	山梨県庁 入庁
	2018年～	山梨県森林環境部 部長



## 「エール」

平岡 豊

(高33回生)

高下駄、長ラン、白手袋。真夏の球場のスタンドで両腕を振り動かし、白いユニホームでプレーする野球部員への声援をひとつにまとめてグラウンドへ伝える。学ランの下のTシャツはたっぷり汗を吸い、鉢巻きを外せば赤く日焼けした額にくっきり白いラインが残っていた。中学時代三年間続けてきたバスケットボールを身長の高さに直面してあっさりと諦め、ひょんなことから応援団に入団することになっていた。あまり目立つことが好きな私ではなかったが、放課後の屋上練習を休むこともなく器用にいろいろな「型」を覚えた。大きな声で校歌や応援歌を叫ぶことも嫌いではなかった。あまりサボらないことが先輩の目に留まったのか三年進級時には団長を務めることになり、いくつもの応援の現場では一番いいところで登場。試合に勝っても負けても注目を集める立場だった。そう、歴代応援団長は結構モテたのである。

大学卒業後社会に出た私はテレビマンになっていた。番組ディレクターとして情報を伝える仕事。真夏の取材ではTシャツが汗だくになり、首から下げたストップウォッチのあとが白いラインで残った。映像編集を必死で覚えた。30半ばで事業部に異動、いくつかの大型イベントの責任者を経験し、現場のスタッフに大声で指示をすることは嫌いではなかった。結構要領良くやってきたので事業部長、制作部長を経て編成局長に。多くの視聴者に見て頂くために様々な宣伝を考えて番組を応援した。しかし結果が出せなかった時の幹部会議では最悪の立場に。そう編成局長は視聴率に責任を持たされるのである。

56歳になった今、関連会社の広告代理店にいる。この業界に入った頃とは比べものにならないくらい取り巻く環境は変わり、けして順風満帆な毎日とは言えないが、勝っても負けてもまだまだこの手を振り動かして元気な声で叫んでいたいと思う。久しぶりに西高魂のこもったエールを自分に送ってみようか。

プロフィール 現職 株式会社ユーティーワイ企画代表取締役社長

1981年甲府西高卒業 1985年東海大学政治経済学部卒業

1986年テレビ山梨入社 2004年テレビ山梨事業部長 2009年テレビ山梨制作部長

2015年テレビ山梨編成局長 2018年ユーティーワイ企画出向



## 「挑 戦」

プロバスケットボール選手

上 原 壮太郎

(高65回生)

「好きなこと・自分のやりたいことを仕事にする。」多くの人たちがこう思っているだろう。私もその1人であった。現在、私は兵庫県唯一のプロバスケットボールクラブである西宮ストークスで活動している。この目標を叶えることができたのは、甲府西高で過ごした3年間のおかげといっても過言ではない。

在学時はバスケットボール漬けだった。強豪校でバスケットをしたいという思いから、甲府西高に入学しバスケット部に入部した。私は高校1年生の時は試合に出ることが出来ず、とても悔しい思いをし、涙を流したこともあった。それから努力を積み重ね、後の2年間は試合に出ることができた。私にとって、甲府西高バスケット部で過ごした3年間は“挑戦”の毎日だった。

また、進学校である甲府西高で文武両道を目指すことは容易ではなかったため、もちろん勉強の方もおろそかにすることはなかった。部活がない日、テスト期間は学校や塾の自習室へ行って勉強をした。文武両道を目指すという理由もあったが、単純に勉強でも人に負けたくなかった。甲府西高は私をバスケットボール選手として、また人間として大きく成長させてくれた。

卒業から6年。現在も私は大好きなバスケットボールに没頭している。私はこうしてバスケットボールが出来ることに感謝し続けている。なぜなら、人の支え・協力無くしてはあり得ないからだ。勉強が出来るのも、部活動に没頭出来るのも家族や先生、友達、たくさんの方のおかげであることを決して忘れてはいけない。支えてくれる方々のためにも日々努力をし、バスケット選手・1人の人間として成長していきたい。

最後に山梨県出身のプロバスケットボール選手として、山梨県の誇りになりたい。悩みや不安たくさん抱えている人々の支えになりたい。私は、無名でも身長が小さくてもプロのコートに立った。“努力は必ず報われるのではなく報われるまで努力する”私はこの言葉を大切にしている。自らがそうであるように、現役生にも夢を叶え、充実した幸せな日々を送ってほしい。そう願いながら、この先も私は挑戦し、走り続ける。

プロフィール 1994年生まれ  
2012年 甲府西高卒業  
2016年 東海大体育学部体育学科卒業  
2017年 西宮ストークス育成チーム  
2018年～現在 西宮ストークス

# がんばっている在校生たち

平成30年度

## ～関東・全国大会出場および活躍の記録～

### ■陸上部

関東高等学校陸上競技大会出場(男子110mH、男子走幅跳、男子三段跳、男子400m、男子八種競技、男子棒高跳、男子砲丸投、男子円盤投、女子棒高跳、女子100mH、男子4×100mリレー、男子4×400mリレー)  
関東高等学校陸上競技新人大会(男子400m、男子400mH、男子3000mSC、男子棒高跳、男子砲丸投、男子4×100mリレー、男子4×400mリレー、女子4×100mリレー)  
関東陸上競技選手権大会出場(男子砲丸投、男子棒高跳、男子4×100mリレー、女子4×100m、女子4×400mリレー)  
全国高等学校陸上競技選抜大会出場(男子五種競技)

### ■男子バスケットボール部

関東高等学校バスケットボール選手権大会出場

### ■体操部

関東高等学校体操競技大会出場 関東高等学校新体操大会出場 全国高等学校総合体育大会体操競技大会出場  
全国高等学校総合体育大会新体操大会出場

### ■卓球部

関東高等学校卓球大会出場(女子シングルス)  
全国高等学校総合体育大会卓球競技出場(女子シングルス)  
関東高等学校選抜卓球大会出場(女子学校対抗)

### ■弓道部

関東高等学校弓道個人選手権選抜大会出場

### ■水泳部

関東高等学校選手権水泳競技大会出場(男子100M平泳ぎ、男子200M平泳ぎ)

### ■美術部

全国高等学校総合文化祭美術工芸部門出場

### ■音楽部

関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト出場

### ■囲碁将棋部

全国高等学校囲碁選手権出場(個人戦)  
全国高等学校総合文化祭囲碁部門出場(団体戦)

### ■文芸部

歌会始の儀 詠進歌 入選  
関東地区文芸大会茨城大会俳句大会出場

### ■放送部

NHK杯全国高校放送コンテスト出場(創作テレビドラマ部門)  
全国高等学校総合文化祭放送部門出場(アナウンス部門、ビデオメッセージ部門、CM部門)

### ■新聞部

全国高等学校総合文化祭新聞部門出場

### ■国語科

全国高等学校ビブリオバトル2018全国大会出場

# ～卒業後の進路を追って～

## 5年間の進路状況(現役のみ)

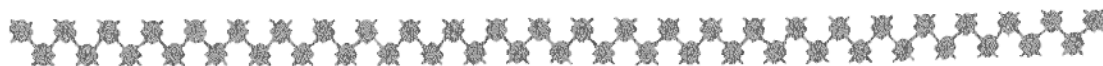
種 別	平成30年度 (6クラス)	平成29年度 (6クラス)	平成28年度 (6クラス)	平成27年度 (7クラス)	平成26年度 (7クラス)	
大学	国立4年制	92	116	91	131	129
	公立4年制	39	42	38	59	61
	私立4年制	300	279	321	495	320
大 学 校	0	2	1	2	2	
短 期 大 学	6	3	4	12	11	
各 種 専 修 学 校	5	2	11	5	5	
海 外 の 学 校	0	0	0	0	0	
就 職	1	0	0	0	0	

## 平成31年3月卒業生(231名)の合格状況 (数字は人数)

国公立大学 131名				私立大学 300名			
山 梨 大	29	筑 波 技 術 大	1	中 央 大	21	埼 玉 工 大	3
静 岡 大	11	茨 城 大	1	山 梨 学 院 大	13	青 山 学 院 大	3
都 留 文 科 大	10	埼 玉 大	1	日 本 大	12	順 天 堂 大	3
信 州 大	9	千 葉 大	1	明 治 大	11	昭 和 薬 大	3
東 京 学 芸 大	7	東 京 海 洋 大	1	玉 川 大	10	成 蹊 大	3
横 浜 国 立 大	6	電 気 通 信 大	1	東 洋 大	10	東 京 女 子 大	3
首 都 大 学 東 京	6	東 京 外 語 大	1	東 京 農 業 大	9	日 本 社 会 事 業 大	3
山 梨 県 立 大	6	東 京 農 工 大	1	法 政 大	9	東 京 都 市 大	3
名 古 屋 大	5	一 橋 大	1	健 康 科 学 大	9	武 蔵 野 大	3
筑 波 大	3	富 山 大	1	神 奈 川 大	8	立 教 大	3
横 浜 市 立 大	3	和 歌 山 大	1	芝 浦 工 業 大	7	近 畿 大	3
東 北 大	2	広 島 大	1	神 奈 川 工 科 大	7	獨 協 大	2
新 潟 大	2	青 森 公 立 大	1	帝 京 科 学 大	6	千 葉 工 大	2
神 戸 大	2	前 橋 工 科 大	1	専 修 大	5	桜 美 林 大	2
島 根 大	2	高 崎 経 済 大	1	東 海 大	5	杏 林 大	2
新 潟 県 立 大	2	埼 玉 県 立 大	1	東 京 家 政 大	5	国 学 院 大	2
長 野 大	2	神 奈 川 保 福 大	1	東 京 理 科 大	5	駒 澤 大	2
諏 訪 東 京 理 大	2	石 川 県 立 大	1	武 蔵 野 美 大	5	津 田 塾 大	2
北 見 工 業 大	1	名 古 屋 市 立 大	1	明 治 学 院 大	5	東 京 経 大	2
秋 田 大	1	北 九 州 市 立 大	1	明 星 大	5	東 京 電 機 大	2
				鎌 倉 女 子 大	5	東 京 薬 大	2
				立 命 館 大	5	武 蔵 大	2
				文 教 大	4	早 稲 田 大	2
				北 里 大	4	山 梨 英 和 大	2
				東 京 工 科 大	4	そ の 他	52

## 第115回 定期総会実行委員会

実行委員長	三上 弥貴子(戸田みき子)(高28回生)			
副実行委員長	新海 宏子(高18回生)	長澤 伸子(高28回生)	山縣 正道(高38回生)	
実行委員	【高28回生】			
	浅岡 順子	浅川 澄香	雨宮ひろみ	遠藤 明子
	遠藤みどり	長田 尚美	小田切みあき	小野 明美
	笠井美智子	鎌田 幸美	河野 恵子	小林 順子
	小林ますみ	小林 教子	志村 美恵	庄田恵美子
	高松 裕美	滝川みどり	竹中みゆき	田中 和恵
	丹沢 久美	古屋 房子	古屋 幸江	保坂 智子
	向井 早苗	村松たまみ	矢崎 友子	山本 恭子
	米山 弘美	渡辺 明美		
	【高38回生】			
	井上 里枝	佐野 信也	丹後 佳代	平塚 秀人
	三井 容子			



## 編集後記

甲府西高等学校同窓会第115回定期総会の同窓会誌発行にあたり、ご指導を賜りました恩師、諸先輩方、同窓生、西高関係者の皆様にはお忙しい中ご協力いただきありがとうございました。また、多くの企業、同窓生の皆様から、広告、協賛、寄付等をお寄せいただき心よりお礼申し上げます。

甲府高女、甲府二高、甲府西高の歴史と伝統のもと、新しい時代の幕開けとなりました、この良き年に担当させていただきましたことを喜ばしく感じております。

同窓会誌の作成にあたり、校正を重ねて参りましたが不行き届きの点がございましたら、編集委員一同の熱意に免じてお許しいただければ幸いです。

母校のますますの発展と、同窓会会員皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

会誌担当一同

### 総会テーマ

歴史と伝統 素晴らしき未来 さあ～新しい時代へ～  
my life your life

遠藤明子(高28回生)考案

### 特集テーマ

あの頃 あの時

---

### 表紙

日本画 表紙「五月の彩」 裏表紙「陽春」

渡辺明美(高28回生)

### テーマ・書

長澤伸子(高28回生)

山梨県立甲府西高等学校同窓会 第115回定期総会誌  
令和元年(2019年)5月11日発行

編集・発行 第115回定期総会実行委員会  
〒400-0064 甲府市下飯田4-1-1  
TEL・FAX:055-228-5161  
印刷・製本 株式会社 日新宣伝用品社  
〒400-0049 甲府市富竹2-3-40  
TEL:055-221-6440

